

次期産業振興プランの整理

産業振興の原理原則

- ・新宿区の産業振興の原理原則は、「区内企業の活性化」と「区民生活の向上」の好循環を創造すること。
- ・条例の基本理念のもと、主体の役割を果たす。
- ・条例に基づき、計画を策定する。(計画の位置づけ、期間)

社会経済情勢の変化
・想定される6項目

区内企業の課題
・各調査結果から

新宿区の特徴
・様々な分野、業態の企業集積
・来街者の多さ
・地域ごとの特徴

- ・社会経済情勢の変化は企業に影響を与え、企業の課題につながる。(顧客層・顧客ニーズの変化、売上減少、情報化、人材不足、安全安心等)

今後10年の産業振興の視点

- ・地域に根ざした産業の振興
- ・事業改革による新たな価値創造の促進
- ・来街者による賑わいの創出

- ・「変化」と「課題」と「特徴」から、今後10年の産業振興を考える。
- ・各主体への意識づけとなる視点

基本目標

- ・10年後、区内産業や「産業のまちとしての新宿」がどうなっているといいのか。
 - 今ある企業の持続的な発展
 - 変化に対応して新しい価値を創造する企業の増加(創業も含む)
 - ※変化…時代の変化、来街者の増加等
 - 活発な産業活動が行われている魅力的なまちづくり

施策の方向性

- ・「変化」と「特徴」をメインに考えた、目標を達成するための取り組みの方向性

推進

- ・目標を達成するために取り組んでいることが、時代に即したものになっているか。(産業振興会議の意見をもとに検証)